

経営比較分析表（令和元年度決算）

宮城県丸森町 丸森町国民健康保険丸森病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	5	-	ド I	救 臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
13,292	6,360	第2種該当	13:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン（放射線）診療

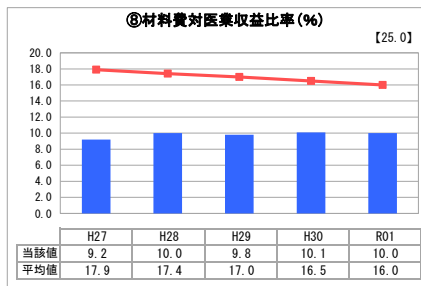
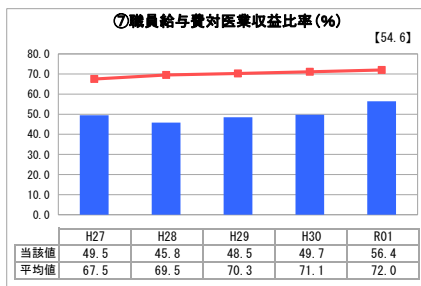
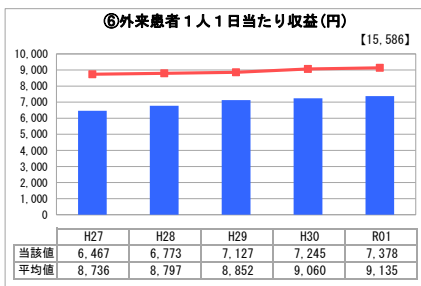
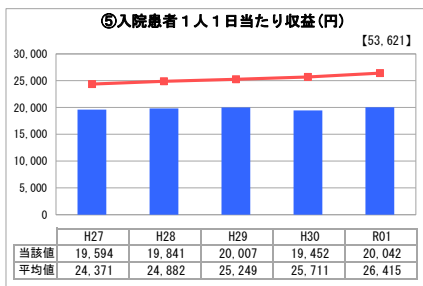
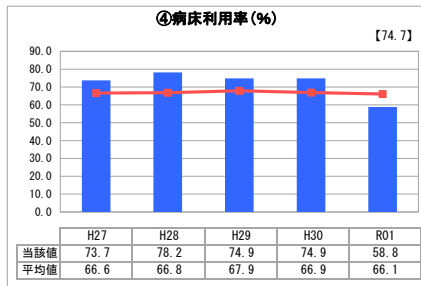
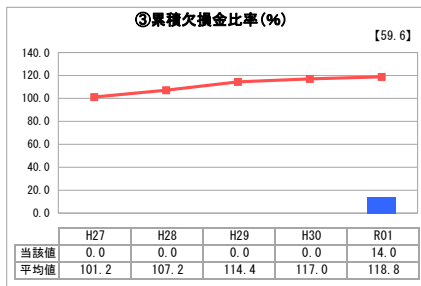
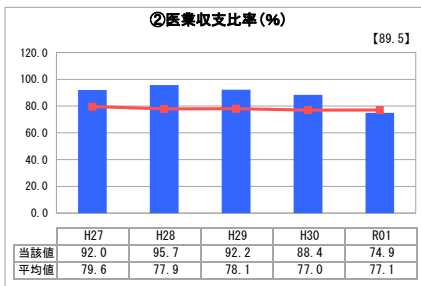
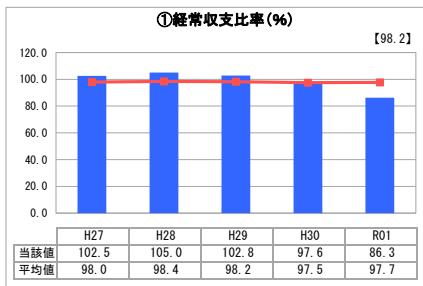
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
55	35	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	90
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
55	35	90

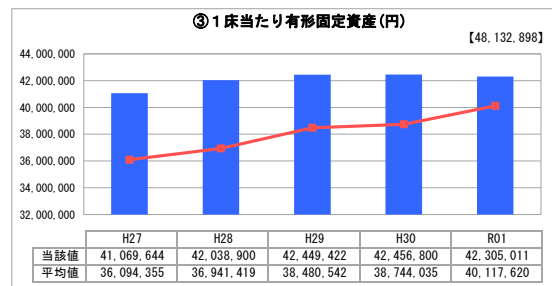
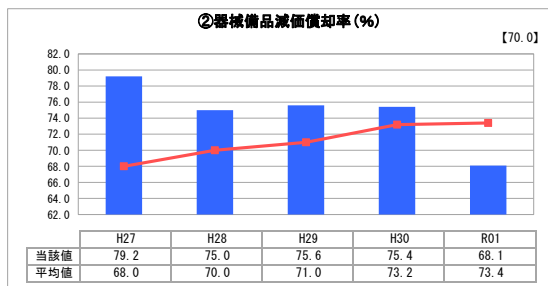
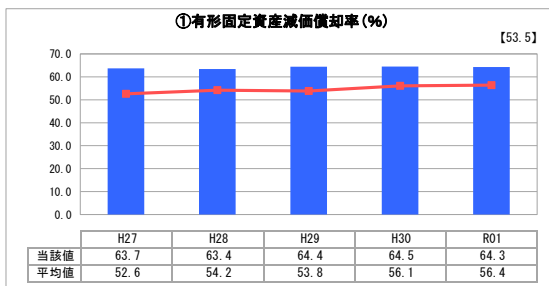
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

町内唯一の一次医療を担う基幹的な医療機関として、保健・医療・福祉の連携を図りながら、町民の生命と健康を守るため、良質な医療を安定的に提供するとともに、各種健診・健康づくり事業などの疾病予防、介護予防に積極的に取り組み、地域の医療水準の向上に貢献する。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当院は令和元年東日本台風により床上浸水の被害を受け、本体をはじめポイラー、医療機器、厨房等が使用不能となり、外来診療を一時休止し、すべての入院患者を隣接病院に移送する措置をとらざるを得なかった。このようなこともあり、ほとんどの経営指標数値は、前年を大きく下回り、これまで全国平均を上回っていた経常収支比率、医業収支比率、病床利用率も下回る状況となった。また、職員給与費対医業収益比率も上昇し、累積欠損金も6年ぶりに発生した。一方、入院及び外来患者 1 人 1 日当たりの収益が微増している。今年度は台風被害という外的要因があったとはいえ、年々経営指標数値が下降傾向にあるので、総合的に判断すると経営の健全性・効率性に欠けているといえる。今後は、経営の抜本的改革が必要と思われる。

2. 老朽化の状況について

病院本体建物は築23年で法定耐用年数内にあるものの、本体と一体となっている空調や電気などの機械備品などは、法定耐用年数を経過している。また、医療用機械備品については、台風により使用不能となった機器の一部を更新したことから、その償却率が大幅に減少し、全国平均も下回った。しかしながら、有形固定資産減価償却率は64.3%と前年度よりも若干良くなったものの、全国平均を上回っている状況にある。このようなことから、一部の改善は見られるものの、有形固定資産の状態は、総じて老朽化が進んでいるといえる。

全体総括

当院は、施設全体が老朽化していることに加え、令和元年東日本台風により、大きな被害を受け、医療機器の一部の買い替えを行った。また、入院及び外来診療を一部休止した期間もあり、医業収益も大きく減少した。次年度以降の災害復旧事業については、高率の補助事業を活用しても、1/3の自主財源が必要となる。その財源確保が最大の課題であり、課題である。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。